北陸中日新聞
HOKURIKU CHUNICHI SHIMBUN
（金沢）
'24.11.14

ＡＩ活用 利便性と注意点

第一学院高金沢の生徒ら学ぶ

大井直之さん（右）から携帯電話に取り込んだ生成ＡＩを使ったキャッチコピー作りを学ぶ生徒たち＝金沢市堀川新町で

金沢市堀川新町の通信制高校、第一学院高校金沢キャンパスで、人工知能（ＡＩ）の活用方法を学ぶ授業があった。社会で必要とされる技術を習得してほしいと同校が企画し、1、2年生33人が学んだ。

この分野に詳しい長野県上田市の専門学校「長野ビジネス外語カレッジ」の大井直之講師(39)が「ＡＩを活用した広報マーケティングの基礎を学ぶ」と題して授業を行った。

大井さんは多くの情報があふれる中、目を引くキャッチコピーの広告を作ることがウェブの仕事で重要な手段の一つと指摘。その上で、携帯電話に取り込める対話型の生成ＡＩ「ＣｈａｔＧＰＴ」を使えばキャッチコピーの文案も簡単に表示されることを紹介した。

試しに生徒はＡＩに「第一学院高等学校金沢キャンパスのキャッチコピーを作ってください」と入力。さらに「金沢らしさを追加して」と求めると、「未来をつくる金沢から世界へ」「金沢の歴史に学び、未来をつくる」などと示された。

1年の洲崎葉太さん(16)は「ＡＩがとても進化している」と実感した様子。大井さんは「ＡＩの答えが正しいかどうか、人間が必ずチェックすることが大事。個人情報も絶対に打ち込まないように」と注意点を訴えた。

（井上靖史）